

2014年4月4日

## 横浜ゴム、「Aircraft Interiors Expo 2014」に出展

横浜ゴム(株)は、4月8日から3日間、ドイツのハンブルグ・メッセで開催される「Aircraft Interiors Expo 2014 (エアクラフト・インテリアズ・エキスポ 2014)」に出展する。

横浜ゴムブースでは、航空会社向けにボーイング 737 NG (Next Generation) に搭載されている既存ラバトリー(化粧室ユニット)の内装デザインを一新し、タッチレス機能を充実させるレトロフィット(換装)モジュールをはじめとしたラバトリー関連製品を紹介し、リプレイスメント市場での販売拡大を目指す。

横浜ゴムは民間航空部品の分野でもタンク、断熱材、軽量複合材、ハニカム構造材など幅広い製品を製造、販売している。特に軽量複合材を利用したラバトリーモジュールで優位性を発揮しており、ボーイング 757 に続きボーイング 737 ファミリーにも 10 年以上供給しているほか、航空会社向けに補修交換用のオーダーメイドでの開発なども行っている。

「Aircraft Interiors Expo」は、航空機の内装品や関連材料、最新技術などが一堂に会する世界的な展示会で、毎年春にドイツ、秋にアメリカで開催されている。機体メーカーや航空会社などに商品をアピールする最適な場となっている。



横浜ゴムの展示ブースイメージ図

このリリースに関するお問い合わせ先  
横浜ゴム(株) 広報部 担当: 山下  
TEL: 03-5400-4531 FAX: 03-5400-4570